

2011 年度後期 国際機構法 期末試験問題

問 1 (50 点)

国際連盟と国際連合とを比較し、それぞれの制度構想と実際の運用とに分けて、両者の異同を説明せよ。

問 2 (50 点)

「現代の国際法秩序は憲法化しつつある。たとえば、国際連合憲章は国際社会の憲法になりつつある。」との主張がある。その一方で、「およそ社会には憲法が存在するのであって、19 世紀の国際社会にも憲法は存在しており、それ以前には普遍的な国際社会を想定することができなかったとしても、それぞれの地域（文明圏）を包摂する憲法は存在していた。」との反論もある。いずれかの立場を選択し、根拠付けよ。いずれの立場を選択するかは評価に影響しない。

以上